

かわら版 (18年11月号)

～東進衛星予備校の最新情報を毎月お届けします。～

受験生～国公立二次試験・ 私立大学出願の注意点

～センター試験まで約70日！～

ここがポイント 自分で願書を取り寄せて出願します！

センター試験の出願は高校で願書が配布され、出願も高校で取りまとめて行いましたが、国公立の二次試験や私立大学の出願については、高校側で取りまとめた出願は基本的に行いません。

自身で志望校の願書を取り寄せ、必要事項の記入、調査書や写真等必要なものを準備し、受験料を納入した上で、願書を大学の指定する方法によって送付します。

願書の請求については、高校で「テレメール願書請求カタログ」を配布しているところも多いと思います。こちらを利用すれば全国のほとんどの大学の願書をPCやスマホから簡単に取り寄せることができます。（「テレメール願書請求カタログ」は東進の校舎でも配布済みです）



ここがポイント 出願締め切り日や送付に注意！

必要な書類などが準備できたら、いよいよ願書の送付となるわけですが、ここで注意しなければならないのが締め切り日や送付方法です。例えば、同じ1月19日が締め切り日だとしても、「必着」なのか「当日消印有効」なのかで変わってきます。ギリギリではなく数日前には余裕を持って発送することを心がけましょう。

また、願書の送付方法についても、大学によっては「速達」「簡易書留」などと指定してくる場合も多くあります。このようなケースの場合、締め切り日当日に発送しようとしたら、時間が遅くて郵便局の窓口が閉まっていた…といった冗談のような本当の話が過去にありました。繰り返しになりますが、くれぐれも期日に余裕を持った対応を心がけましょう。

ここがポイント 私立だけでなく国公立大学もネット出願導入！

○名古屋大学

平成31年度入試(平成30年度実施)から、『一般入試』及び『大学入試センター試験を課す推薦入試』において、インターネット出願を導入します。

○名古屋工業大学

平成31年度入試(平成30年度実施分)からは、全ての入試において、インターネットを利用した出願方法となります。これに伴い、学生募集要項は、冊子体での配布を廃止し、本学ホームページから電子ファイルをダウンロードして入手する方法に変わります。

出願は期日に余裕を持って対応していきましょう！
ご不明な点はお早めに各大学の入試課にお問い合わせください。

